

「私のオススメの本」

後期図書副委員長 5年1組 廣瀬 愛望

皆さんは「朝読の時間に読む本がない」「本を読みたいのに面白そうな本が見つからない」と思ったことはありませんか？ そんな人にオススメしたい本を2冊紹介したいと思います。

1つ目は『DEATH「死」とは何か』（シェリー・ケーガン著）という本です。この本は、イェール大学で人気の講義を翻訳したもので、「人は必ず死ぬ。だからどう生きるべきか」というテーマのもと、“死”について様々な視点から「魂」や「生きる意味」などの死生観が語られています。この本は400ページ近くあるので読むのは大変ですが、読んだ後、「死」や「人生についての価値観」が変わりました。「哲学が好き」、「人生の意味って？」と知っている人にオススメです。

2つ目は『神様の御用人』というシリーズの本です。ある日突然、謎の老人に一冊の本を渡され、神さまの御用を聞く「御用人」になったフリーターの青年・良彦が方位神である狐神・黄金と共に、日本各地の神さまの願いを叶えていくという話です。普段、人間の願いを聞き届ける神さま達の願いごとを、ただの人間である良彦が、どんな形で叶えるのか？出てくるのは、古事記や日本書紀に出てくる神さまや京都の有名な神社の神さまたちです。人間以上に人間味あふれる八百万の神さまたちに振り回される良彦たちの姿に思わず笑ったり、時にはほろりと涙をこぼしたり・・・最後には心が温まる素敵な物語です。

著者である浅葉なつさんは多くの資料を調べ、その解釈に基づいて書いているため、「もしかしたら本当にそうだったのかも」と思うこともあります。『古事記』などに出てくる神さまや神社などが好きな人にオススメです。

どちらの本も図書館にあるので、興味のわいた人は、ぜひ読んでみてください。

(※『神様の御用人』シリーズは、6冊あります。)

★ 前期 24.6冊 後期 13.1冊 全校 18.8冊 ★

先日、皆さんに協力していただいた「読書冊数調査」の結果は、上記のとおりです。

昨年度は、前期 22.9冊 後期 12.1冊 全校 17.1冊でしたので、昨年度よりも良い結果となっています。また、目標である「17冊」も前期生と全校では見事達成できました。3月に今年度最後の調査をします。「図書館の本6冊以上の貸出、全体で17冊以上の読書」という本校の目標が達成できるよう、ラストスパートをお願いします。

図書委員オススの本

『松山・道後十七文字の殺人』 西村京太郎【著】



5年4組 千葉諒介

この物語は、鉄道ミステリーやトラベルミステリーで、名をはせている西村京太郎による長編ミステリーです。警視庁捜査一課刑事の亀井が、松山に行った際、殺人を予告する三つの俳句を目にします。何とかして欲しいと頼まれた亀井は、東京に戻り、上司の十津川警部と共に、真相を探ります。東京と松山を舞台とする俳句にまつわる未曾有(みぞう)のミステリー小説。ぜひ、ご覧ください。

～2月の新刊紹介～

- | | |
|----------------------------|------------|
| ○ 『長い長い殺人』 | 宮部みゆき【著】 |
| ○ 『生物はなぜ死ぬのか』 | 小林武彦【著】 |
| ○ 『今を生きるあなたへ』 | 瀬戸内寂聴【著】 |
| ○ 『日本語の大疑問』 | 国立国語研究所【著】 |
| ○ 『死にたがりの君に贈る物語』 | 綾崎隼【著】 |
| ○ 『スモールワールド』 | 一穂ミチ【著】 |
| ○ 『1万人の脳を見た名医が教えるすごい左利き』 | 加藤俊徳【著】 |
| ○ 『ゴゴスマ石井のなぜか得する話し方』 | 石井亮次【著】 |
| ○ 『櫻風堂夢ものがたり』 | 村山早紀【著】 |
| ○ 『ママがもうこの世界にいなくても』 | 遠藤和【著】 |
| ○ 『アンドロメダの猫』 | 朱川湊人【著】 |
| ○ 『真夜中のマリオネット』 | 知念実希人【著】 |
| ○ 『5分後に意外な結末 琥珀に閉じ込められた未来』 | 桃戸ハル【著】 |
| ○ 『5分後に意外な結末 正解より素敵なパズル』 | 桃戸ハル【著】 |

※ 6年生が作ってくれた本の紹介カードを展示しています。見に来てください。

今年度の貸出は、3月3日(木)までです。今借りている本は、今年度中に返却してください。